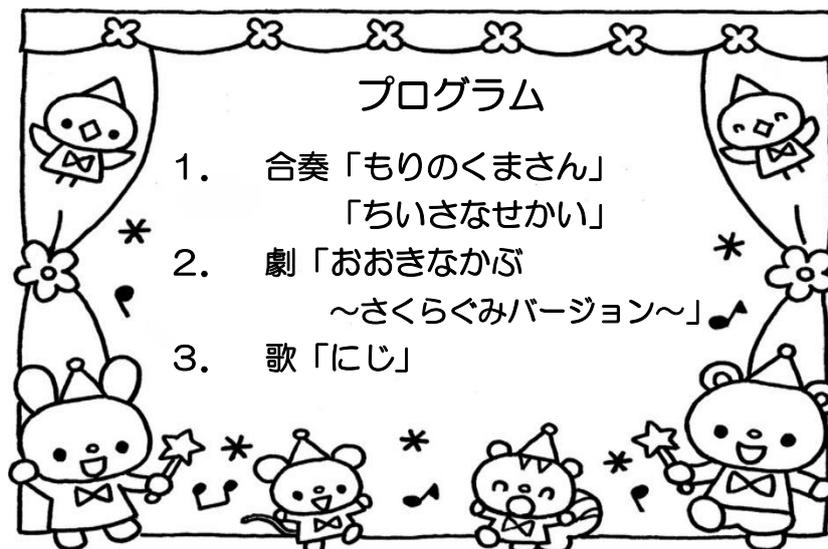




令和4年3月7日
 鈴鹿市立玉垣幼稚園
 No. 21

8日(火)は、いよいよ参観日です。ようやく「劇ってこんな感じなんだ」「合奏ってこうするんだ」と発表会のことになってきた子どもたち。初めは、先生に言われた通りに一生懸命動いていましたが、何度も繰り返しみんなで歩いていくうちに、できるようになっていく嬉しさや、みんなで一緒にすることの楽しさを感じ、表情も生き活きとして、“自分たちの発表会”という意識が芽生えてきたように感じています。

子どもたちは自分の姿をお家の人に見てもらうことをとても楽しみにしています。友だちと一緒に家の方の前に立ち、発表する姿を温かく見守っていただきたいと思います。当日、どんな姿を見せてくれるか、私もドキドキしていますが、楽しみにしていってくださいね。



1. 合奏「もりのくまさん」「ちいさなせかい」

楽器遊びでは、楽しみながら使い方を覚えたり、好きなCDの曲をかけて自分なりに音を鳴らして楽しんだりしながら、いろいろな楽器に親しんできました。発表会は、分担奏を加え、演奏します。歌ったことのある2曲なので、曲に親しみをもち、友だちと音を合わせて楽しむことを目的に取り組んできました。みんなと気持ちを合わせて合奏する姿を応援してあげてください。

『もりのくまさん』

カ斯塔ネット: さな, (か)ゆい, あいの, (お)ゆい

トライアングル: ゆづき, せいち, いおり, かほ, いちか

タンバリン: ヤーシン, ジェリコ, ちひろ, こうすけ

すず: りくと, うた, ふうま, りお

『ちいさなせかい』

カ斯塔ネット: こうすけ, ゆづき, りお, いちか

トライアングル: さな, ちひろ, りくと, (お)ゆい, ふうま

タンバリン: かほ, (か)ゆい, うた, いおり

すず: あいの, ヤーシン, ジェリコ, せいち

2. 劇「おおきなかぶ」(さくら組バージョン)

おじいさんが畑に植えたかぶの種。みんなで水やりをして、草取りをして、お世話をすると、大きなかぶができました。なかなか抜けない大きなかぶですが、仲間を呼んで、みんなで力を合わせて抜きますよ！子ども達と夏野菜やラディッシュ、かぶを育てた経験から、「丁寧に種は蒔いてたよね」「お水もしっかりあげてたもんね」「草取りもしたね」と思い出しながら、友だちと一緒に楽しく演じています。

お話の流れも、子どもたちにとって一番楽しいものとなるように、クラスで何度も話し合いながら考えて決めていきました。その中で、「最後はどうする？」という話になりました。子どもたちからは、「大きなかぶを抜いたんだから、自分たちで食べたい！」と全員の思いがあり、「じゃあ、どうしようか？」「おばあさんが作る？」「全員分作るの大変そうだね、う～ん・・・」と悩んでいたのが、「お話に出てこない人が出てきてもいいんだよ。誰かがしなくても作ってもいいんだよ」と私が言うと、「じゃあ、ロボットを作るのは？！」「お料理ロボットを作ればいいんだよ」とみんなの目が輝き始めました。「全員分のかぶのシチューを作るから大きなロボット作らないとな！」とみんなで一つの大きなロボットを作ることになり、1週間かけて完成させたんですよ！このように、子どもたちが今楽しんでいる遊びを取り入れた、さくら組バージョンの劇になっています。劇の最後をお楽しみに！

劇活動をする中で、たくさん子どもたちと話し合いながら進めてきました。話し合いをすると、初めのうちはたくさん意見が出て一つにまとまらずに時間が長くなり、「もう遊びたい・・・」と言う子が出てきて、なかなか難しかったです。ですが、それでも「これはさくら組の劇だから、みんなと先生とで一緒に考えて決めていこう」と話し合いを繰り返してきました。すると、少しずつ自分の意見だけでなく、他の子の意見にも耳を傾けるようになり、他の子の意見の素敵などころを見つけたり、自分と他の子の考えを織り交ぜたりして、みんなが納得できるように話し合いを進めようとする姿が見られるようになってきました。

みんなで作ったロボットが出来上がると、「この子の名前を決めよう！」「〇〇はどう？」「え～やっぱりみんなで考えて決めようよ！」と自分たちから話し合いをして決めようと言うようになり、私も驚きました！一人ひとりが素直に自分の意見を言えて、そのどんな意見も大切にされ、一人でも嫌だと言う子がいたらみんなが納得いくまでもう一度話し合う・・・とても時間の掛かることですが、その経験を繰り返してきたからこそ、話し合っただけの楽しさを感じたり、“みんなで作った、私たちの劇”という気持ちが大きくなってきたりしたのかなと思います。

劇の中では、堂々と台詞を言う子、役になりきっている子、緊張してしまう子、恥ずかしそうにしながらも一生懸命表現する子など様々な姿が見られますが、一人一人を温かく見守っていただけたらと思います。

『おおきなかぶ』配役

おじいさん役: あいの, かほ, ゆづき

おばあさん役: (か)ゆい, いちか, うた

いぬ役: りくと, ふうま

ねこ役: りお, ちひろ

うさぎ役: さな, こうすけ, (お)ゆい, いおり

かぶ役: ジェリコ, ヤーシン, せいち

3. 歌「にじ」

空に虹がかかっているのを一人が見つけると、必ず友だちを呼びに行き、一緒に空を見上げて喜んでいた子どもたち。作品展の彩雲作りでも、そんな虹の不思議な魅力を感じながら作っていたのが思い出されます。子どもたちはこの「にじ」の歌が大好きで、劇あそびの大道具作りの中でも「ここは虹色にしよう！歌も歌うもんね！」という声もありました。

友だちと一緒にいるのが嬉しくて、みんなで笑ったり、遊んだり、表現したりすることが大好きだったさくら組の子ども達。そんな優しい気持ちが伝わってくるような歌です。



ようこそ！さくらぐみのロボット博物館

以前、クラスだよりでクラスでロボット作りが盛り上がっていることをお伝えしました。あれ以来、まだまだロボットは増えていき、数えきれないほどに！

劇の中にロボットを登場させようと話し合いで決まった時に、一人の子がそっと手を挙げて言いました。

「先生…ロボット博物館も発表会の時にしたい。お母さんたちに見てもらいたい！」

その意見に、全員が「え～それいいね！」「本当のロボット博物館やろう！」と大賛成！！クラスの中で楽しんでできていたロボット博物館を、発表会の時に展示して見てもらうことになりました。これも、今までただ楽しんで行っていた劇や合奏などが、“発表会で見てもらいたい”という意識に変わってきたからこそその発案だったかもしれませんね。

そこで、ロボット博物館に展示する用のロボット作りが始まりました。今までに作ったロボットでお気に入りのものを展示してもいいし、新しく作ってもいいということを伝えると、どれを飾ろうか悩む子や、一番かっこいいのを今から作る！と張り切る子など、様々でした。一人一体以上のロボットが展示されます。ロボットには、作った子の名前と、『頑張ったところや工夫したところ、好きなところ』が書いてあるカードも一緒に置いてありますので、よろしければぜひご覧になってくださいね！



- 遊戯室床に水色のビニールテープが貼ってあります。その中が観客席になりますので、自分の席で座って参観をお願いします。出入口付近に立ち止まっただけの参観はご遠慮ください。
- 小さいお子さんと保護者の方の私語を十分ご配慮いただきますようお願いいたします。
- お面をかぶりますので、髪の毛をくくられる時は、耳の周りをさけて結んでいただくようご協力をお願いします。

<遊戯室 発表会当日の座席表>

舞台								
	せいち		ヤーシン		ふうま		りくと	
ジェリコ		いおり		うた		いちか		出入口
	(お)ゆい		こうすけ		(か)ゆい		ゆづき	
りお		ちひろ		さな		かほ		あいの
ロボット博物館								ピアノ

<お願い>

- コロナ禍であることから、万が一、陽性者が発覚した場合、その日の保護者様の位置を保健所に報告しないとけません。よって、発表会中の移動はご遠慮ください。
- 座席表は、子どもたちにくじを引いてもらい、こちらで決めさせていただきました。お子様の名前の書いてある座席にお座りください。